

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立東小岩小学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	65.0%	65.0%
令和 7 年度の目標	63.5%	63.5%
令和 6 年度の結果	55.4%	62.5%
令和 5 年度の結果	63.6%	60.0%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	50.0%	60.7%
第 5 学年	60.0%	65.5%
第 4 学年	50.0%	68.3%
第 3 学年	60.7%	55.4%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・「伝え合い、学び合い、高め合う」学習過程の工夫。 ・自分の考えを表出できる力や方法を身に付けさせる指導の工夫。 ・タブレットや教育アプリの積極的な活用 ・5・6年教科担任制による教材研究の充実 ・算数授業スタンダードを活用した指導 ・校内研究（国語科説明文） ・学力向上委員会による学力調査分析	・毎週金曜日「朝学習」の時間の活用 （低学年は視写、高学年は「よむYOMワークシート」） ・「iteM（アイテム）算数」の活用 ・話し方（話型の提示）、聞き方の系統的指導 ・児童が自分の思いや考えを表す方法や場の充実 ・デジタルドリルやミライシードの繰り返しの活用 ・算数習熟度別指導 ・東小岩スタイル推進（授業の流れ・板書表示の統一）	・1人1台端末を活用したミライシード「ドリルパーク」に家庭学習でも取り組ませる。 ・漢字・計算・音読・週末作文等の継続した取組 ・江戸川っ子study weekを契機とした家庭学習の推奨 ・家庭との連絡・連携 ・東小岩SNSルールの実施
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・学習の流れの見通しをもたせる指導 ・具体物を使った教材教具の充実 ・巡回指導教員との連携	・スモールステップで学習 ・個別指導 ・EDOスクの活用	・個に対応した課題設定 ・スモールステップで評価。取組の見通しをもたせ意欲の継続を図る。
成果指標	・国調査の学習状況質問調査「国語・算数の授業の内容はよくわかる」の肯定的回答90%以上、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりすることができている」の肯定的回答80%以上。	・3学期の東京ベーシックドリル算数診断シートにおける平均正答率70%以上。 ・国、区の学力調査におけるCD層36.5%以下。	・国調査の学習状況質問調査「学校の授業時間以外に普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」に「1時間以上」と回答する児童の割合70%以上。